

“鹿島”に思う

昭和19年の初夏から秋への5か月、私は神ノ池海軍航空隊で零式戦闘機の訓練を受けた。まぎれもない、現在の鹿島工業地帯の真只中である。“神ノ池”の上空は特殊飛行の指定空域で、技術未熟のため丸くならない宙返りなどをやらされた。民家は大部分がさして豊かではない農家で、100m近くも離れ松林の中に散在していたように記憶しているが、その庭先に3,000mもの上空から突込んで、洗濯中の娘さんを道づれにした“久米仙”の友もいた。“今日の他人の身”明日の吾が身。自分達がこの碧海・白砂・緑の鹿島を守るのだ、この緑の山河こそ自分達の生命に代える価値のあるものだと自分にいきかせて、きびしく空しい青春の消耗に耐えた。

過日、茨城園試の方々のご好意で、鹿島地帯のそ菜農家を一巡させて頂いた。“神ノ池”は半分に埋められて、工事の濁り水を浮かべ、その昔空から眺めたであろう緑の松は、ダンプの土煙りの中で“茶松”という珍種に変わっていた。農工両全政策のおかげで、“ピーマンは年30万にもならんが、アパートは月25万になる。”と豪邸に笑う農家が生まれ、その近くにトルコとキャバレーの看板が並んでいる。戦後25年のその日、私は自分の青春が名実ともに消滅しれことを実感をもって知った。

その昔、豊かではないが碧海と白砂を持った鹿島は、今進歩と豊かさの名のもと、欲望と喧騒の巷にそれらを棄て去った。“何のための豊かさ”か。過剰文化の中に生きて、われわれは自分が失ないつつあるものに、日々鈍感になっているのではないか。(農林省園芸試験場 西 貞夫)

目 次

昭和45年度秋冬作そ菜・花き関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	2
試験成績判定表……………	3
I. 除草剤……………	5
II. 生育調節剤……………	15

(農林省園芸試験場 西 貞夫)

植物防疫事業20周年記念で

植調関係者18名表彰さる……………	17
農林大臣感謝状受領者 江副 浩氏…	17
植物防疫20周年記念会会長	

功績表彰者	佐々木正剛氏……………	17
	永沢 勝雄氏……………	17
	森 英男氏……………	17
	原 正市氏……………	17
	須藤 孝久氏……………	18
	佐々木菊次氏……………	18
	遠井 忠一氏……………	18
	橋爪 厚氏……………	18
	横田 清氏……………	18
	国武 正彦氏……………	18
	野村 正氏……………	18
	若林 確氏……………	19
	東 浩氏……………	19
	藤枝 国光氏……………	19
	八木 友一氏……………	19
	井上利志栄氏……………	19
	湯田 保彦氏……………	19

新除草・調節剤

NKS除草剤……………	20
NTN-5006除草剤……………	20
植物成長調整剤ジョンカラー……………	21